

1. 教師海外研修とは

1) 研修の目的

JICA は国際協力事業を通じて培った経験や人材、ネットワークを活用し、諸外国との関係や異文化理解等についてなど、ますますグローバル化する教育活動に協力していきたいと考えています。

本研修は、国際理解教育や開発教育に関心を持つ教員を対象に、国際理解教育指導者研修等の国内研修と、開発途上国への海外研修を有機的に組み合わせた上で実施し、開発途上国の置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を学校現場での授業実践等を通じて次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらふこと、及び研修参加後に JICA 北海道（札幌／帯広）と協力し、教育現場で国際理解教育や開発教育を推進する中核となるような人材を育てることを目的に実施するものです。

2) 研修の流れ

海外研修の効果を高めるため、訪問国への理解を深めるための情報提供等を目的とした2回の派遣前研修と、研修の成果を活かした実践的な授業案作りを目的とした2回の帰国後研修を実施しています。またこれらの研修と開発教育/国際理解教育指導者研修とを組み合わせることで実施することにより、授業づくりに必要な手法の習得や研修成果の発表の機会を提供し、他の教員とも共有することで実践者のネットワーク作りを進めています。

日程	内容
2017年 9月	研修参加決定通知の送付
10月	【事前学習】 ・研修先（マレーシア）基礎情報収集
10/7～8	【第1回 派遣前研修兼 国際理解教育指導者研修 入門編】 ・現地での活動方法、インタビュー内容に係る各人の検討
11月	
11/25～26	【第2回 派遣前研修 兼 国際理解教育指導者研修 実践編】 ・現地での活動方法、インタビュー内容に係る各人の検討 ・国際理解教育手法、指導案の作成方法を学ぶ

12月 下旬	<p>【最終案内送付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地研修日程（確定） ・ 空港集合時間、場所の確認 ・ 海外旅行保険加入証 ・ 緊急連絡先
2018年 1月 1/3～13	<p>【マレーシア現地研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修中の情報収集活動、指導案枠組み作成に係る意見交換 ・ 1日のプログラム終了後の振り返り、情報共有 <p>※現地研修中に指導案（第1案）を作成</p> <p>【帰国後作業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した情報の整理と共有 ・ 研修報告書の作成 ・ アドバイザーからの助言を踏まえた指導案（第2案）の作成
1/27～28	<p>【第1回 帰国後研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案作成に係る参加者間の意見交換、アドバイザーによる助言
2月 2/24～25	<p>※指導案（仮完成版）を提出</p> <p>【第2回 帰国後研修 兼 国際理解教育指導者研修 共有編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案による模擬授業の実施 ・ 指導案の最終意見交換
3月 3月中旬～	<p>【実践授業の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング ・ ホームページ等実践例を掲載 <p>※実践授業を基に、実践報告書を作成</p>
～7月 7/31	<p>【実践報告書提出】</p> <p>ホームページに掲載、実践報告書集の作成</p>